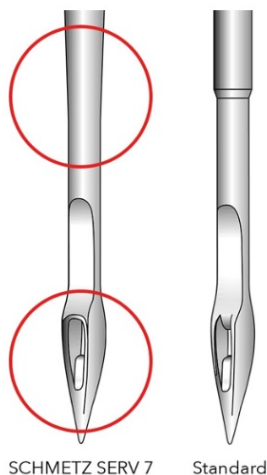


SCHMETZ SERV 7

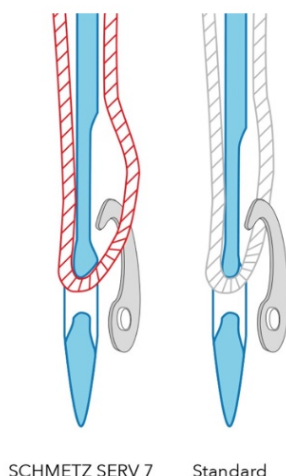
針の安定性向上により理想的な縫製を実現する

今日の難しい化繊生地、縫製では、目飛びのみならず生地、の地糸切れなどで悩まされます。シュメツのサーブ7はこの解決のために効果を発揮します。サーブ7の開発で生まれた専用、の特殊な先端形状はきっとお客様の工程を安定させるでしょう



サーブ7の際だった特長は、エグリの具合です。釜が糸をすくうときに、安定して大きなループを作れるよう、またシャンクの形状を大幅に強化し針のしなりを防ぎます。

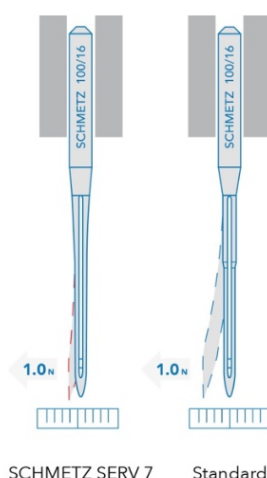
そして最大限貫通穴が目立たないように、またシワなどが生まれにくいよう設計してあるため、通常通常より1サイズ小さい針を使用しても安定した縫製を実現します。



左図の通り、サーブ7は通常の針よりも大きなループを形成します。

針穴の上端の形状変更により実現した大きなループにより目飛びを大幅に防ぎます。

これと比較すると、通常の針では条件により目飛びが防ぎ切れないことがわかります。



サーブ7は自社の通常の針より15%、他社比較20%の強度向上を果たしました。

そのため、釜の先端が当たりやすくてもルーパーや針板に傷があっても、極めて安定した縫製を実現し、曲がりにも強くなっています。

左図は、1ニュートン(約10g)の力を先端に加えた場合の比較です。

一般的な針よりも曲がりにくいことを保証します。

The special stability of the SERV 7 needle is particularly valuable for use with thick materials and multiple layers of fabric, such as in sewing cross seams in jeans manufacture. Other classic instances of deployment of SERV 7 needles are in production of [interior upholstery for the car industry](#), but also for the processing of particularly fine materials. Due to their greater stability, thinner needles can be used for finer materials without difficulty and yet still have the requisite stability.